

土壤くん蒸剤



土を、根を、作物を守る、高濃度D-D剤

旭D-D

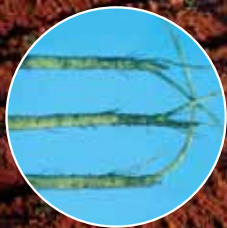
登録番号:第22029号

有効成分:1,3-ジクロロプロペン…97.0%

性状:淡黄色澄明液体

人畜毒性:医薬用外劇物

豊かに実る日を、
迎えるために。



ネグサレセンチュウ被害
(ごぼう)



ネコブセンチュウ被害
(すいか根)



ネコブセンチュウ被害
(にんじん)



ネコブセンチュウ被害
(かんしょ)

線虫に効く、高濃度D-D剤。あさひが根を守る。

■適用病害虫と使用方法 本剤および1,3-ジクロロプロペンを含む農業の総使用回数/1回

作物名	適用病害虫名	使用量	使用方法	使用時期
はくさい、レタス、非結球レタス、こまつな、ほうれんそう、キャベツ、ねぎ、みつば、みずな、チンゲンサイ、にら、つるむらさき	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20ℓ/10a (1.5~2mℓ/1穴)	全面処理※1 作条処理※2	作付の 10~15日前まで
きゅうり、すいか、いちご、トマト、ミニトマト、メロン、かぼちゃ、なす、ピーマン、とうがらし類、まくわうり、オクラ、にがうり、さやいんげん				
だいこん、はつかだいこん、にんじん、かぶ、ごぼう、もりあざみ、かんしょ、てんさい、こんにゃく、さといも、らっかせい、しょうが、やまのいも、らっきょう				
パセリ、みょうが(花穂)、みょうが(茎葉)、しそ、しそ(花穂)、バジル、うど、薬用ニンジン、みしまさいこ、食用ぎく、花き類・観葉植物				
うり類(漬物用)	センチュウ類 コガネムシ類幼虫	20ℓ/10a(2mℓ/1穴)	全面処理※3	作付の30日前まで
だいず、えだまめ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ ダイズシストセンチュウ			
ばれいしょ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	15~20ℓ/10a (1.5~2mℓ/1穴)	全面処理※4	作付の 30~45日前まで
	ジャガイモシストセンチュウ 青枯病 そうか病	30~40ℓ/10a (3~4mℓ/1穴)		
茶	ネコブセンチュウ	20ℓ/10a(2mℓ/1穴)	全面処理※1	作付の 10~15日前まで
たばこ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	20ℓ/10a(2mℓ/1穴) 4~6ℓ/10a (1.3~2mℓ/1穴)	全面処理※4 畦内処理※5	
すぎ(播種床、床替床) ひのき(播種床、床替床)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ イシクセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20ℓ/10a (1.5~2mℓ/1穴)	全面処理※1 作条処理※2	作付の 10~15日前まで
樹木類	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫			植付の 10~15日前まで

■上手な使い方



●耕起・整地はていねいに行ってください。 ●土壌水分は、土を軽く握ってひらくとこわれずに軽くひび割れができる程度が適正です。 ●たばこの畦内処理では、ガス抜きは行わないでください。

■くん蒸期間とガス抜き期間

●処理は原則として作付の10~15日前に行い、作付3~4日前に畑を耕起して十分にガス抜きをしてください。
●くん蒸期間、ガス抜き期間と効果、薬害の関係は、土壌の種類、腐植土の多少、温度、土壌水分、作物によって異なります。はじめて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

処理時期(地温)	処理時期とくん蒸期間・ガス抜き期間の目安	
12~2月(5~10℃)	注入 15~20日	20日 定植
3~4月(10~20℃)	注入 10~15日	15日前後 定植
5~6月(20~25℃)	注入 7~10日	7~10日 定植
7~9月(25~35℃)	注入 7日	5日 定植
10~11月(25~15℃)	注入 7~10日	10日 定植

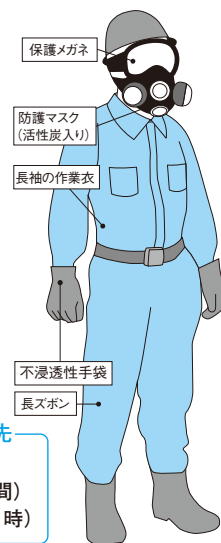
- 処理後に大雨があったり、土壌が重粘土質で通気の悪い所では、ガス抜きを特に念入りに行ってください。
- 温度の低い時、薬量を多くした時は、注入から作付までの期間を少なくとも1週間くらい長くしてください。
- ばれいしょのそうか病に対しては、地温が低いと効果が不十分な場合があるので注意してください。
- 適用作物群に属する作物又は、その新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

■貯蔵上の注意事項

●火気を避け、直射日光があたらない鍵のかかる低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。

■安全に使用するために

- 右記イラストに記された、正しい服装と保護具を着用し作業してください。
- ガス抜き作業の際にも、右記イラストの服装と保護具を着用してください。
- 作業およびくん蒸中に、人や家畜・家禽を圃場に立ち入らせないように注意してください。
- 作業後は、手足、顔を洗い、うがいをし、衣服を交換してください。
- 眼に入った場合は、多量の水でよく洗い、速やかに眼科医の手当てを受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 薬液が衣服に付いた場合には、ただちに着替え、他のものと分けてよく洗濯してください。



■農業の中毒に関する緊急問い合わせ先

公益財団法人 日本中毒情報センター
大阪中毒110番 072(727)2499(24時間)
つくば中毒110番 029(852)9999(9~21時)

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●使い終わった缶は、逆さまにして周囲に影響のない場所に臭いが抜けるまで立てておいてください。その後、危険のない場所で処理してください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

製造販売 **ダウ・ケミカル日本株式会社**
ダウ・アグロサイエンス事業部門

本社 / 〒140-8617 東京都品川区東品川2丁目2番24号
天洲セントラルタワー <http://www.dowagro.com/jp>
営業拠点 / 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・福岡

取扱

◎本資料は2014年9月現在の知見に基づき作成されています。